

各 位

会 社 名 シンデン・ハイテックス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 鈴木 淳
 (コード番号：3131)
 問合せ先 専務取締役管理本部長 齋藤 敏 積
 (フリーコール：0800-5000-345)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、以下のとおり、最近の業績動向を踏まえ、2018年5月10日に公表しました2019年3月期通期業績予想を、2019年4月23日開催の取締役会において、下記のとおり修正することを決議いたしましたのでお知らせします。

記

●業績予想の修正について

1. 2019年3月期通期連結業績予想数値の修正（2018年4月1日～2019年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 51,000	百万円 800	百万円 460	百万円 310	148円11銭
今回修正予想 (B)	46,102	626	299	215	105円11銭
増減額 (B-A)	△4,898	△174	△161	△95	
増減率 (%)	△9.6%	△21.8%	△35.0%	△30.6%	
(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)	54,406	1,207	874	603	344円08銭

2. 業績予想の修正理由

2019年3月期の通期業績に関しまして、2018年5月10日に公表しました通期業績予想を、修正する理由は以下のとおりとなります。

(1) 売上高

当社グループの業績は、一部ビジネスの遅延があったものの、第3四半期までは好調な半導体市況の追い風を受け、それらを背景とする顧客の生産増と、車載機器向けや事務機器向けが業績をけん引し、ほぼ計画どおりに推移しておりました。しかしながら、第4四半期に入り、メモリ価格の急激な下落、中国向け産業機器の減産、第4四半期に予定していた複数のビジネスの延期なども加わり、外部環境の急変のため、急激に業績が悪化いたしました。

その結果、売上高は、46,102百万円（前回発表予想値より4,898百万円減）を見込んでおります。

以下に分野（品目）別の主な増減要因を記載します。

a. 液晶分野

高採算液晶ビジネスの進捗遅延を当分野の主力ビジネスである車載機器及びモニタ向けビジネスでカバーしたことにより、当初の計画に対し、786百万円の増加と見込んでおります。

b. 半導体分野

好調な半導体市況の追い風を受け、第3四半期までは、それらを背景とする顧客の生産増と車載機器向けや事務機器向けが増勢となり、計画どおり推移していましたが、第4四半期に入ってからメモリ価格の急激な下落や中国向け産業機器の減産の影響を受け、当初の計画に対し、2,844百万円減と見込んでおります。

c. 電子機器分野

異物検出装置は計画どおりの推移でありましたが、前述の半導体分野同様、第3四半期まで好調であった半導体市況の急変により、第4四半期納入分のメモリ価格の急落によりメモリモジュールビジネスに影響を受け、中国向け産業機器用の急速な需要減も加わり、当初計画に対し1,850百万円減と見込んでおります。

d. その他分野

第3四半期までは、バッテリービジネスの遅延をEMS（※）ビジネスでカバーしていましたが、第4四半期に予定していた基地局向けバッテリービジネスが急遽延期になった要因が加わり、当初計画に対し990百万円減と見込んでおります。

（※）EMS（Electronics Manufacturing Service）：製品の開発・生産を受託するサービスです。

(2) 営業利益は、上記(1)に記載しました売上高の減少要因による売上総利益の減少額（当初の計画より340百万円減）が、一般販売管理費の節減額（当初の計画より166百万円減）を上回ったため、626百万円（前回発表予想値より174百万円減）を見込んでおります。

(3) 経常利益は、第4四半期末時点の外貨建て負債が資産を上回っており円安基調となったため、評価上の為替差損を54百万円の計上となりますが、ドル金利の上昇といったマイナス要因に対して有利子負債を抑えるなど、運転資金の効率化を図り、営業外損益の支払費用を当初計画より13百万円節減したことで、299百万円（前回発表予想値より161百万円減）を見込んでおります。

(4) 特別損益の発生は見込まず、その結果、親会社株主に帰属する当期純利益は、215百万円（前回発表予想値より95百万円減）を見込んでおります。

3. 配当予想について

2018年5月10日に公表しました1株あたり45円00銭としておりました2019年3月期の配当予想は、現段階では変更の予定はございません。

確定した業績をもって、2019年5月14日開催予定の取締役会で2019年3月期定時株主総会への上程議案として、配当金額を決議いたしますので、正式に決定いたしましたら「剰余金の配当に関するお知らせ」として別途お知らせ申し上げます。

(注) 上記の予想に関する記載は、本資料の作成時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績及び配当に関する事項は今後の様々な要因により、本記載数値と異なる可能性があります。

以 上